

第19回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどいin金沢

医歯学生部会の発足、市民との共同

反核医師の会 新しい発展方向を確認

反核医師の会 ニュース

第40号

2008年12月15日

核戦争に反対する医師の会事務局
〒920-0192 石川県金沢市本町4-1-1
新市役所ビル 金沢市役所3F 市民活動センター
TEL: 076-2375-5121 FAX: 076-2375-1885
E-mail: info@hokoku.or.jp
http://www.hokoku.or.jp

核戦争に反対する医師の会

なくしまっし核兵器

核兵器廃絶へ何ができるか——第19回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどいin金沢が、11月22日、23日の2日間、石川県金沢市内で開催された。今回の「つどい」には、3百人をこえる市民参加を含めて、42都道府県から過去最多となる572人が参加した。

平和な世界をめざして——市民ができること

堤 未果氏が記念講演

1日目、『ルポ貧困大国 アメリカ』の著者でジャーナリストの堤未果氏が、「平和な世界をめざして——市民ができること」と題して記念講演をおこなった。堤氏はイラクの現状にも

御礼

全国の会員のみならず、「第19回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどいin金沢」にご参加いただきありがとうございます。全国から医師・医学者99人、医学生50人、医



第19回つどい
実行委員長
白崎 良明

療関係者および市民を含め、572人が集いました。会場の関係で大変、狭く、暑苦しい思いをおかけしたことをお詫びするとともに、実行委員会を代表して心から御礼申し上げます。

今回の「つどい」はICANを日本の反核・平和の草の根運動に広め、大きな流れを作るきっかけにしたいと考えてきましたが、地元のみならず共同企画を進めたことと内容と参加者を豊かにしたことにつながったと思います。

初めての企画した展示コーナーはいかがでしたか。各県「反核医師の会」の参加が少なく残念でしたが、地元の反核・平和サークルはみなさんの評価を受けて大変元氣をもらいました。

「つどい」に参加し、強い気持ち、正しい情報、ほんの少しのユーモアを持ち合わせていれば「戦争と核兵器は絶対なくせ」と少しでも共感してもらうことができました。実行委員会として成功したと考えております。ありがとうございます。

来年、鹿児島でお会いしましょう。



「つどい」には、過去最多の572人が参加。記念講演では第2会場も設置された。



オバマ新政権をどうみるかなどについて詳細に解明し

また、堤氏は、市民ができることとして、民主主義を育てること、子どもたちや報道の自由を守ることを、あきらめないことなどを提案。最後に、「人が行動するとき」というのは、感動したときと、自分に誇りを持つたとき」と参加者に期待を込め講演を締めくくり、大きな拍手に

☆参加者の感想より☆
○映画シッコを観て、堤さんの話に通じるものがあるのではないかと感じてきたが、その通りだった。「なくしまっし核兵器」という、スローガンがとても心に響いた。9条が世界から注目されているというのはいずれしい。(60代・女性)
○私自身は戦後生まれだが、着るものではなく、貧しかったので日常的に戦争がまわりにあったという感じだった。友人と「新しい憲法のはなし」を読み合わせている。9条だけではなく、25条や21条もしっかり読みたい。(50代・女性)
○オバマ氏の当選でチェンジがあるのかと思っていたが、必ずしもそうでもないということがわかった。表の政治の動きと、裏の動きをしっかりと見ていかないと、だまされてしまう。大企業と政府が一体になって、国民を虜にするパターン

ポスター展示



今回は、各県の活動交流の一環として、ポスター展示を実施しました。8都県の反核医師の会を含め石川県内外の26団体より出品され、たいへん盛況でした。

学生部会が発足

医学生の思いを発信しよう

反核医師・医学者のつどいの初日、医学生の立場で核廃絶に向けた活動を進める「学生部会」発足集会を開催し、34人の医学生が参加した。



新代表の千葉大学の奥野さん

初代表世話人で金沢市在住の助昭三医師が記念講演を行った。助医師は「戦争はいつの間にかやってきて、国民は戦争に参加させられ、320万人もの日本人が殺された」とことや731部隊をはじめとした「医学犯罪」について話した。

学生部会発足集会では、代表に千葉大学医学部5年の奥野奈奈さん、副代表には北海道大学医学部2年の高橋聡さんと長崎大学医学部3年の加山恵美奈さんを選出した。

最後に新代表の奥野さん



が、発足宣言と活動方針を提案し、「一人でも多くの医学生が平和への思いを発信しながら、学びを深め、医学生が出来ることを考えながら一歩一歩がんばろう」とよびかけ、拍手で確認した。

主な活動方針は以下のとおり。

- ◇会の一員として今後はIPPNNWや原水爆禁止世界大会をはじめとする国際的・全国的な集会への参加や、日常的に地域単位でも反核・平和の取り組みにも積極的に関わり、メンバーもリストを活用して、情報交換を行うこと
- ◇被爆者の方の話や、放射線被害に苦しむ方などがどれだけの苦しみや、医学者ならではの特色をもった活動を考えていくこと
- ◇反核・平和を求める各学生団体や世界の医学生とも積極的に交流すること

医師として 原爆認定集団訴訟を 支援してきて

兵庫・郷地医師が特別講演

「つどい」1日目の特別講演では、核戦争を防止する兵庫県医師の会の運営委員である郷地秀夫医師が、「医師として原爆認定集団訴訟を支援してきて」をテーマに話した。

郷地医師は、医学の立場から被爆者を守るといふ観点から、原爆認定訴訟に携わるまで欠如していたと述べた。

2003年に始まった原爆認定制度改善を求める原爆認定訴訟の第一次原告団9人の被爆者の陳述書と実際の話を聞く中で、彼らが原爆症に苦しむ被爆者である真実を知ったと述べた。以後、被爆や原爆に関する勉強を始め、本や資料を掻き集め原爆症とは何か



特別講演をおこなう兵庫・郷地秀夫医師

め、②私たち自身のため、③私たちの地球のため、④人間の力を信じて、⑤平和を求めての5点だと述べ、二度と被爆者を生まないために訴訟に取り組んでいる実態を報告した。

最後に、医師の立場で、反核平和を希求する心・魂・情熱をもって、原爆症認定訴訟の運動を引きつが

全体会

情勢にこたえ、 よりいっそうの発展を

全体会で基調報告をおこなう山上紘志代表世話人



山上紘志代表世話人より基調報告がされた。冒頭「地球上の過半数超の自治体が平和市長会議の活動を支持し、190カ国が核不拡散条約・非核兵器地帯に批准」していることを紹介した秋葉忠利広島市長の発言を紹介。地球規模で、核兵器廃絶を求める声が圧倒的多数派であることが強調された。そうした流れに逆行し、あくまで対米追従を



全体会で各県の活動報告をおこなう、(上から)東京・渡辺吉明氏、神奈川・高橋健作氏、富山・金井英子氏、石川・西川忠之氏、愛媛・曾根康夫氏



今年3月に開かれたIPPNWデリー大会の報告をおこなう呉林秀崇医師



川・城北病院」と医学生2人が参加報告。国境を越えて、志を共にする仲間との交流に、深い感銘を受けたことなどを含め、現地で見聞した様子が生きいきと感動的に報告された。

各地のとりくみとして東京、神奈川、富山、石川、愛媛から活動報告がおこなわれた。

市民公開シンポジウム

核兵器廃絶をめざして —私たちができること

「つどい」2日目は「核兵器廃絶をめざして—私たちができること」核兵器こそ人類の敵」と題したシンポジウムをおこなった。

第1部では、4人のパネリストが、それぞれの立場から核兵器の過去と現状について報告した。

石川県原爆被災者友の会事務局長の西本多美子氏は当時4歳で間一髪のところ



4人のパネリストの報告に熱心に耳を傾ける参加者

第2部では、運動の現状と未来への希望について討論をおこなった。



シンポジウムで発言する(右から)西本多美子氏、梅林宏道氏、鎌仲ひとみ氏、金森俊朗氏

梅林氏は「東アジア非核化構想」を語り、「世界に広がる非核化地域が、これからの地球を守るひとつのキーワードとなるだろう」と述べた。金森氏は、「子どもは、たとえ醜くても本当の歴史や真実を知りたがっており、決して歴史を歪曲してはならない」ことを、沖縄での歴史教科書問題に対する高校生の発言を借りて語った。

また、西本氏は被爆者認定について、内部被曝そのものを認めようとし、日本の現状を鋭く指摘。国民の支援を得た被爆者認定訴訟、被爆体験の継承が課題だとした。鎌仲氏はエネルギーの作り方ではなく、使い方を考えるべきで、「脱原発社会への取り組みこそが人類が生き残る道」と指摘した。



アピール提案をおこなう原和人
常任世話人

「核兵器は廃絶することができ
る」、このことは私たちの確信です。
米国の核戦略を推進してきたキン
ンジャー元国務長官らの「核兵器の
ない世界に向けて」の呼びかけは、

アピール

「つどい」2日目の閉会集会で採択さ
れた「アピール」は次ぎのとおりで
す。

私たち、核戦争に反対する医師の
会（反核医師の会）は、「北陸から
発信するICANNなくしまっし核
兵器」をテーマに、2008年11月
22日・23日金沢で、第19回つどいを
開催しました。

しかし、私たちは、世界の指導者
がその良心に基づき、自発的に核兵
器の廃絶に向けての政策をとると考
えるほど、楽観主義者ではありません
ん。これまでの世界の平和が、多く
の人々の粘り強い運動によって成し
遂げられた成果であることを思い起
こせば、核兵器廃絶も、私たち一人
ひとりの運動にかかっているといっ
ても過言ではありません。

IPPNW（核戦争防止国際医師
会議）は、核兵器廃絶国際キャン
ペーン（ICANN）運動を提起してい
ます。私たちは、このICANN運動
を支持し、日本においてもICANN
運動をすすめていくことを確認しま
した。元IPPNW会長のメアリー
ウィン・アシュフォードさんの「平
和へのアクション101+2」にあ
るように、平和のために、核兵器の
廃絶のために一人ひとりができるこ

2008年11月23日
第19回核戦争に反対し、核兵器
廃絶を求める医師・医学者のつ
どいin金沢参加者一同

メッセージ

親愛なる友人の皆様へ

今回の、第19回核戦争に反対し、核兵器廃絶
を求める医師・医学者のつどいの開催に際し、
心よりご祝辞を申し上げます。

『Enough Blood Shed』の日本語版『平和へのアクション101+2』が
大好評とお聞きしとても喜んでます。皆様は、本の出版の企画から、
初版の売り切れという偉業を成し遂げられました。現在、続版の印刷を
行っていますが、とてもわくわくしています。

私にとって、先般の日本への講演旅行、とりわけ金沢への訪問と講演
は忘れられない思い出です。私の夫と、私、孫息子のサムへの心温まる
歓迎と友情に感謝し、いつの日にかお会いできることを願っています。

皆様のご活躍をお祈りします。

メリーウィン・アシュフォード (IPPNW元共同会長)



第19回「つどい」への 祝電・メッセージ

（順不同、敬称略）

- ◇メリーウィン・アシュフォード
- ◇広島市長・秋葉忠利
- ◇長崎市長・田上富久
- ◇非核の政府を求める会
- ◇日本反核法律家協会 会長 弁護士
池田眞規
- ◇原水爆禁止日本協議会



来賓挨拶をおこなう
石川県医師会長・
小森貴氏

会員投稿

プルサーマル計画について考える

北海道・遠藤高弘

20年以上前に、使用済み
燃料の再処理施設や増殖炉
の危険性・恐ろしさを警告
する本を読んで心に深く記
憶していた。死の灰を濃硝酸
で溶かしプルトリウムを
抽出してゆく過程は、さな
がら地獄の釜のイメージ
で、まさに地獄の大王ブル
トンの出現である。

津軽海峡を越えたところ
（六ヶ所村）で再処理を再
開すると言う話を聞いてい
たが、恥ずかしながら少し
悠長に見ていた。

北海道の泊3号機建設に
反対する動きは数年前にあ
ったが、今回あっさり北
海道新聞で「プルサーマル
計画推進します、安全性は
確認されている」という
（政府の見解そのまま垂れ
流しのような）小さな報道
を目にし、「えっ！」と驚
いたのが今回の投稿に至っ
たきっかけである。急いで
インターネットでプルサー
マル計画を調べた。

現在までに事前合意が成
立しているプルサーマル発
電計画は、玄海原子力発電
所3号機・伊方原子力発電
所3号機・高浜原子力発電
所3および4号機・浜岡原
子力発電所4号機。

事前協議中のプルサーマ
ル発電計画は、泊発電所3
号機：となつて（今
夏の特号）
そして1972年の長計
方針を必ず貫こうとしてい
ることがわかる。



筆者・自画像

現在プルサーマル計画を
推進しているトップは、も
と新日鉄社長であり経団連
会長であった今井敬氏なの
だが、まったく路線を変え
る気がないのは、経済財政
諮問会議がこの前、社会保
障総額の毎年の抑制を来年
度以降も変えないと答申を
上げたのと同じで、いくら
国民が反対の意志を表明し
てもまったく聞き入れられ
ないということだろう。

さて、反核医師・歯科医
師の会からサミットにむけ
て、要請項目が提出された。

【要請項目】1-3は略

4、わが国が将来にわたつ
て「非核3原則」を厳守す
ることを世界に表明し、
「非核3原則」の法制化に
取り組むこと。

プルサーマル計画がその
危険性がマスクされプル
トリウムを豊富に蓄積し、国
民に正しい情報を与えない
まま環境問題などとリンク
されて進められることに加
え、非核3原則が守られて
いかなかったことが最近次々
と明らかになって、ほとん
ど建前のようになっている

「非核3原則」という言葉
さえ、2010年の国民投
票法による憲法改正・九条
改正とともに撤廃する計画
ではないかと思わずにはい
られない。

岸信介著「岸信介回顧録」
に書いてある原子力につい
ての下りも、如実に物語っ
ている。

「原子力技術はそれ自体、
平和利用も兵器としての使
用もともに可能である。ど

ちらに用いるかは政策であ
り国家意志の問題である。
日本は国家・国民の意思と
して原子力を兵器として利
用しないことを決めている
ので、平和利用一本槍では
あるが、平和利用にせよそ
の技術が進歩するにつれ
て、兵器としての可能性は
自動的に高まっていく。日
本は核兵器を持たないが、
潜在的な可能性を高めるこ
とによって、軍縮や核実験禁
止問題などについて、国際
の場における発言力を強め
ることが出来る。」

洞爺湖サミットで二酸化
炭素による地球温暖化防止
に原子力発電の文字が入れ
られてから、最近の北電T
VCMでは「プルサーマル
計画はヨーロッパで数十年
行われている確立した技術
です」の垂れ流しである。
私は大きく二つの問題があ
ると思っている。

一つは環境に対して大変
問題があることが全く隠さ
れていて、冷却水の排水温
度の問題と高レベル放射性
廃棄物の問題である。ちな
みに温度の上がつた排水の
量は、日本の河川が1年間
に海に流れ込む量の3割と
言われている。

最近本箱をひっくり返し
てみた1985年発行の
「原子力発電」日本科学者
会議編から「平常運転時の
環境問題」について紹介す
る。「タービンを回した水
蒸気は復水器に導かれて海
水で冷却されますが、使う
水の量は100万キロワッ
トの原発で毎秒約70トン
（1）、排水温度は取水より
も夏期約7度、冬期は最高
19度ほど高くなります。
この排水は海産生物系に
つぎのような影響を与え
る可能性があります。（以下

略）
また、再処理工場から出
る中レベル廃棄物が発生す
る放射線は一万キュリーだ
が、高レベル放射性核廃棄
物は炉からとりだして15
0日たつても1・5億キュ
リー、これがどれだけとて
つもなれないレベルか。しか
もエネルギーが高く、500
年間地下に処理できない
で地上で管理ということが
電力会社から実際に回答さ
れている。

公式ホームページには、
使用済みMOX燃料につい
ては当面の間原子力発電所
で貯蔵、管理し、「国の定
める基本方針に沿って処理
していきます」としか書い
ていない。しかもガラス固
化実験は今年も失敗してい
る。電力業界は戦前から財
界や政治と密接に結びつく
非民主的な企業である。
これらが及ぼす危害の大
きさは、時間軸でも地域的
な広さでも今大問題になつ
ているアスベストなどの比
ではまったく足りない。夕張が
高レベル放射線廃棄物処理
場に手上げたということ
も聞いた。北海道は相変わ
らず常に「なんでも処理場」
である。

もう一つはコストの問題
です。六ヶ所村の再処理施
設は最初の建設予定費36
0億円、しかし2005年
度ですでに2兆8000億
円使われており、今後の後
始末などは推計30〜40兆円
となつている。こういうこ
とを国民には隠す。本当に
許せない。
この大きな問題をどう分
析整理して国民に知らせて
ゆくか？
この投稿はその試みの一
つである。

各地の反核医師の会から

滋賀医師の会

総会記念講演で
イラク戦争の実相を聞く

核戦争防 止滋賀県医 師の会(代 表 上島弘 嗣・滋賀医 科大学教 授、会員71 人)は10月 5日、第24 回総会を開 催、07年 度の活動報 告、08年 度の活動計 画、役員をそれぞれ承認し ました。

総会後、イラク人医師・モハメド・シャキル氏により「2003・イラク戦争と世界の平和」と題する記念講演を実施しました。イラク戦争で医療活動をしてきたシャキル氏は、次のように話しました。

イラク戦争は、国連の承認なしにアメリカとイギリスが始めた戦争です。しかし、日本も憲法9条を破って戦争に加担しました。ブッシュ米大統領は「イラクに民主主義をもたらす」と



記念講演するイラク人医師・モハメド・シャキル氏

と言いましたが、実際は「イラクに死をもたらし、避難を余儀なくさせ、人権を剥奪し、病氣と障害を人々に与えた」のです。だからブッシュ大統領は「戦争犯罪人」として裁判にかけられるべきです。これまでイラク人約100万人が殺され、約400万人の子供たちは親を失いました。一方アメリカ兵は、4300人が亡くなり、3万2千人が傷つきました。帰還兵は精神的な疾患をもつ人が多く、自殺者も出ています。

2003年以降、イラクではイラク戦争にNOと唱える医療や科学などの知識人が次々と暗殺されているため、多くが国外に逃れて病院は極端な医師不足に陥り治療も出来ません。今はコレラが流行しています。劣化ウラン弾による放射能汚染も将来にわたって心配されます。しかし、これらの多くは報道されていません。是非、イラクの実情を知っていただき、思いを述べます。

奈良反核医師の会

第2回総会を開催

9月7日(日)奈良県文化会館に於いて反核医師の会第2回総会が開催されました。当日は和歌山、兵庫県各反核医師の会



来賓あいさつをおこなう小田徹也氏

代表や大阪IPPNN支部長はじめ多くの来賓の参加を得て、成功裡に終えることが出来ました。

5月のデニス・カイン氏の講演、毎日新聞に投稿された講演案内、インターネット上に公開されたHP等々の事業活動を紹介いたしました。

IPPNN大阪支部長、小田徹也先生、奈良民医連会長、永松孝志先生、反核医師の会代表世話人、山上絃志先生、奈良県保険医協会代表、鈴鹿正剛先生の祝辞をいただきました。また奈良県歯科医師会はじめ頂いたメッセージの紹介がありました。代表世話人の坪井裕志医師がこの一年間の活動の報告をいたしました。昨年9月の結成総会、及びそれを紹介した毎日新聞の記事、京都で開催された第18回つどいへの参加、

次いで事務局から会計報告がありました。議題として世話人から提案された名称の変更を議論いたしました。目的を限局するような名称変更はいかがか、という意見もあり、名称変更の提案は世話人会で再度検討をすることとなりました。

総会終了後、多くの市民の方々の参加を得て、NO DUヒロシマ・プロジェクトの嘉指信雄氏による記念講演が行われました。

「アメリカはベトナム戦争以来、自国が戦場になるのを避けながらアフガニスタンやイラクなど他国に出張して戦争を繰り返してきた。藤本監督からは、足元のアメリカ国内では戦場にされている国とはまた違った顕われ方で人々を蝕む深刻な社会病理現象が深く広く進行していることを、2006年秋から今年4月まで延べ7回2000日に及ぶ取材を重ねて撮影し、この映画を完成させた。

2008年度会費納入と
募金のお願い

2008年度会費が未納の方は納入をお願いします。

- 個人会員(医師・歯科医師、医学者) ...10,000円
- 医歯学生会員1,000円
- 賛助会員1,000円

振込先

りそな銀行 新都心営業部 普通 1557502

「反核医師 医学者の集い」

郵便振替 00170-7-56764 「反核医師・医学者のつどい」

映画評

アメリカを明日の日本の姿にしないために
—みんなで観よう

映画『アメリカばんざい』(118分)
監督：藤本幸久

今年夏に公開されたドキュメンタリー映画である。今は、劇場公開が終わって各地で自主上映の企画が進み、それぞれ上映会が催されている。

反核医師の会・愛知では、公開に先立つ今年の5月、27周年記念講演会に監督の藤本幸久氏とインタビュアーで共同製作者の影山あさ子さんを招いて、アメリカでの取材フィルムを観ながら話を聞いた。

アメリカはベトナム戦争以来、自国が戦場になるのを避けながらアフガニスタンやイラクなど他国に出張して戦争を繰り返してきた。藤本監督からは、足元のアメリカ国内では戦場にされている国とはまた違った顕われ方で人々を蝕む深刻な社会病理現象が深く広く進行していることを、2006年秋から今年4月まで延べ7回2000日に及ぶ取材を重ねて撮影し、この映画を完成させた。

クルーターたちは全国から狩り集め毎週五七百人をブートキャンプに送り込む。送り込まれた若者たちは、ここで12週間ひたすら上官の命令だけに従い、戦場で敵を殺すことさえ「平和への貢献」であると信ずるようになるまで徹底した軍事教練・教育を受けて、「立派な」海兵隊員となりイラクなどへ派兵されて行く。

しかし、彼らが戦闘でのケガや心の病で耐えられないと気づいたとき、戻って行くアメリカ社会は過酷だ。イラクで人を殺してしまった若者はPTSDに苦しみ、元の自分には戻れない。幸せだった家庭は、彼らを抱えて元の家庭ではあり得ず家を出る人が多い。

「アメリカばんざい」の上映会を開いてください。今の日本を考えると、日本の青年や子どもたちの顔が、このアメリカの青年たちにダブって見えると影山さんは言う。着々と「再編」が進められる日米軍事一体化、広がる一方の社会格差を見ると、取材して来たアメリカ社会に重なり日本の近未来の姿を見ているようだといえる。

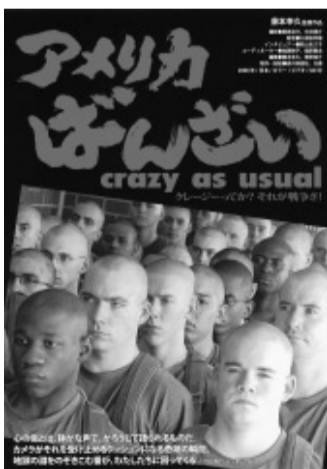
アメリカでは、国家予算の約半分が軍事費、これでは福祉・医療や教育費など回るお金はない。家を出ても、戦闘の仕方は知っていても働くための技術はない。仕事を見つけることは非常に難しい。

だから、ぜひ各地の医師の会でこの映画を観る会を開いてください、と私たちは訴えています。(愛知・中川武夫)

映画では次のような状況が描かれている。

米海兵隊のブートキャンプ

今春、藤本監督のチームは普通には許可の出ない米海兵隊ブートキャンプ(初年兵教育施設)の取材に成功した。高校を卒業しても職のない若者たちを主な標的に、軍のり



この映画についての相談は次へご連絡ください。

◇『アメリカばんざい』公式サイト
http://www.America-banzai.com/

◇自主上映の問い合わせ
影山あさ子事務所：
札幌市厚別区厚別東4-8-17-12
TEL. 011-206-4570
marinesgohome@gmail.com